

市の出来事から

「景観」と「まちづくり」の接点を探る

「景観シンポジウム in 奥州」が1月23日、前沢ふれあいセンターで行われました。シンポジウムは、市が現在進めている、平泉文化遺産景観計画策定作業の一環として、「景観」について市民に関心をもつてもらおうと開催したもの。約150人の来



市民が登場し意見を述べたシンポジウム

その年の年間最高販売額を記録し、前沢牛の名声を高めた生産者を表彰する21年度前沢牛発展功績者表彰が1月30日、JA岩手ふるさと前沢支店で行われました。

4万2525円で年間最高販売額となつた、小野寺裕さん||前沢区字簾森||に、相原正明市長が表彰状と市長旗を贈りました。

小野寺さんの記録は、昨年11月6日の前沢牛枝肉共進会に出品した枝肉。キロ当たり単価は3975円となり、肉牛生産の振興に大きく貢献しました。



市長旗を手にする小野寺さん

前沢牛の年間功績者に市長旗

場者は、三宅諭・岩手大学農学部准教授による基調講演や同大学農学部共生環境課程の学生による「景観点検発表」、市民によるパネルディスカッションで「景観」について理解を深めました。

市景観形成審議会の会長を務める三宅さんは、「住民と行政が協働でつくる地域の景観」と題し講演。「景観だけを考えるのでなく、まちづくりの観点のなかで景観を考えていくべき」と景観とまちづくりの接点を中心に、事例を交えながら講演しました。

同大学生による景観点検発表では、昨年12月に前沢区と衣川区の遺跡や神社などの調査結果をグ

ループごとに発表。「案内看板がわかりにくい。説明が不足している」「農機具や荷物などが乱雑に置かれている」など、来訪者の視点で「景観」の改善点を指摘しました。



鈴木マツエさん(1月3日)

前沢と水沢のお一人がめでたく百歳

市は、1月に満百歳を迎えた前沢区と水沢区のお二人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

鈴木マツエさん||前沢区字長

前沢区と水沢区のお二人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

鈴木マツエさん||前沢区字長

前沢区と水沢区のお二人に記念品を贈り、長寿を祝いました。</p